HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	農学部技術部のあゆみ
Author(s)	農学部技術部世話人
Citation	北海道大学農学部技術部研究・技術報告, 2, 59-60
Issue Date	1995-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/35299
Type	departmental bulletin paper
File Information	2_p59-60.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

農学部技術部のあゆみ

農学部技術部世話人

平成６年　３月　１日～３日　農学部附属農場技官研修に荒井、川端、津久井、稲川、高橋、塙、富岡の７名が参加。

１４日　第１６回運営委員会（１１名参加）　平成６年度農学部技術部業務計画案に基づき、研修について話し合われる。又、農学部技術部研究・技術報告集の配布先を確認。

４月　５日　第１７回運営委員会（１０名参加）　研修委員から提出された研修案に基づき細目について検討。

２２日　第１８回運営委員会（１０名参加）　新入技術職員の歓迎会について話し合われる。又、研修と報告集を中心に平成６年度技術部業務計画案（II）としてまとめることとした。

５月１２日　新入技術職員歓迎会の開催（技術部長、事務長、事務長補佐、人事掛長を含め１８名が参加）　サッポロビール園にて盛大に催された。対象者　金田宜士（附属牧場）、尾島徳介（附属牧場）、阿部歩（応用菌学）、谷井祥子（附属植物園）

１９日　技術部長（農学部長）と面談（４名参加）
平成６年度農学部技術部業務計画案（II）を提出。分科会方式を取り入れた研修の開催、報告集発行の件の了承を得た。併せて、附属牧場の技術職員が運営委員会に出席するための出張旅費や、技術職員の専門技術を高めるための講習会、研究会、学会、等への参加旅費の技術部としての予算の整備もお願いした。

８月１９日　第１９回運営委員会（１０名参加）　研修における講師への正式な依頼や講義室の確保等について話を煮詰めた。

９月　７日　第２０回運営委員会（１０名参加）　研修における施設見学の具体的スケジュールや内容等の調整。

２１日　第２１回運営委員会（１０名参加）　研修における施設見学の件、スライド等役割分担、懇親会の件、総会の件、報告集の件について話し合われた。

１０月１２日　第２２回運営委員会（１２名参加）　研修全般の最後の詰めを行った。又、報告集発行の要領が研修委員より呈示された。又、農

学部技術部運営委員会の内規のようなものが必要な時期に来ている、との意見が出され、笠井、林、渡部の３人が草案を作成することとなった。

２１日　第２３回運営委員会（１０名参加）　研修の進行について等最後の確認を行った。又、運営委員会内規案草案とそれに付随する実行委員会細則草案を検討修正し、内規案として研修後の技術部総会に計る事とした。

２４日
～２６日　第３回農学部技術部職員研修
場所　北海道大学農学部、附属農場、札幌百合が原公園及び北海道農業試験場
参加者　農学部２５名、附属農場１４名の計３８名が参加をし、分科会（３日目）の参加者内訳は家畜飼養系１３名、植物管理系１３名、作物分析系１２名であった。
総会　北海道大学農学部技術部運営委員会内規案（実行委員会細則案を含む）が了承され、一部手直し後に内規案として技術部長（学部長）の裁定を受ける運びとなった。
懇親会　クラーク会館キャラ亭にて、講師を招き盛大に行われ、親睦を深めた。

１２月１３日　第２４回運営委員会（１１名参加）　研修のアンケート集計の検討等、研修の総括を行った。報告集の原稿締切の確認。

平成７年　１月１９日　技術部長（学部長）裁定により内規案が、北海道大学農学部技術部運営委員会要項及び北海道大学農学部技術部実行委員会申合せとして認可され、平成７年４月１日から実施される事となった。

２月１７日　第２５回運営委員会（１５名参加）　報告集に関する事と、運営委員会要項及び実行委員会申合せの実施に向けての話合いを行った。

２２日　技術部長（学部長）と面談
平成６年度技術部業務報告と平成７年度業務計画、特に予算面での整備を要求した。

３月１６日　現運営委員から新体制での新委員への引き継ぎを行った。

末日　北海道大学農学部技術部技術・研究報告第２号発行される。